



取扱説明書

[室内・家庭用] 冷凍冷蔵庫

型番 IRSN-45A
IRSN-50A

※ この冷凍冷蔵庫は室内・家庭用です。
業務用として使用しないでください。

取扱説明書は
WEBサイトからも
ご覧いただけます。



保証書付

日本国内専用 (FOR USE IN JAPAN ONLY)

このたびは、お買い上げいただきまことにありがとうございます。

- この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。
- ご使用前に「安全上の注意」を必ずお読みください。
- この取扱説明書は使用する方がいつでも見るできるよう、大切に保管してください。
- 「保証書」は「お買い上げ日」「販売店名」の記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

もくじ

ご使用の前に

安全上の注意	3
使用上の注意	6
付属品	6
各部のなまえ	7

取り扱いかた

準備する	8
操作パネルの使いかた	11
冷蔵室	12
野菜室	16
冷凍室	18
自動製氷の使いかた	20
部品の取り外しかた・取り付けかた	22

お手入れ

お手入れ	24
------------	----

こんなときは

こまったときは・・・	26
移動・運搬するときは	29

アフターサービスとその他の内容

保証とアフターサービス	30
仕様	31
保証書	裏表紙

安全上の注意

最初に、この「安全上の注意」をよくお読みになり、正しくお使いください。
人への危害や、財産への損害を未然に防止するため、必ず守る必要があることを説明しています。

図記号の意味



注意を促す記号です。



禁止を示す記号です。



必ず行うことを示す記号です。



警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う
おそれがある内容を示しています。

電源プラグ・電源コードは正しく使う



- 電源プラグのほこりは定期的に取り
ほこりがたまると、湿気などで絶縁不良に
なり、火災・感電の原因になります。
- 電源プラグはコンセントの奥まで確実に
差し込む
ショートによる火災・感電の原因になります。
- 電源は交流100V、定格15A以上のコン
セントを単独で使う
火災の原因になります。



ぬれ手禁止

- ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしない
感電・やけど・けがの原因になります。



- 電源コードを束ねて通電しない
過熱してやけど・火災の原因になります。電
源コードは、必ずのばして使用してください。
- 移動時に電源コードを引っ張らない
火災の原因になります。
- 電源コードを傷付けない
- 設置時に冷蔵庫を電源プラグに押し付け
ない
傷付ける、加工する、無理に曲げる、引っ張
る、ねじる、重いものを載せる、挟み込むな
どしないでください。
電源コードが破損し、火災・感電の原因にな
ります。
- 電源コードや電源プラグが傷んだり、
コンセントの差し込みがゆるいときは
使わない
ショートによる火災・感電の原因になります。
電源コードが破損したときは、使用を中止し
アイリスコールへお問い合わせください。
(コードの交換は製造業者もしくはその代理店
または同等の有資格者によって行います。)



プラグを抜く

- お手入れや点検、移動の際は、必ず電源
プラグをコンセントから抜く
感電やけがの原因になります。
- 電源プラグを抜くときは、電源コードを持
たずに必ず電源プラグを持って引き抜く
電源コードが破損し、火災・感電の原因に
なります。
- 長期間使わないときは、必ず電源プラグ
をコンセントから抜く
絶縁低下により、火災・感電の原因になります。

設置について



- 水平で安定した場所で使用する
不安定な場所で使用すると、ドアの開閉など
で転倒し、けがや火災の原因になります。
- 地震に備えて、転倒防止処置をする
転倒すると、けがや火災の原因になります。
- 風通しが良いところに、すき間を空けて
設置する
機器の囲いまたはビルトイン構造では、障害
物をなくし、通風口を確保する。
せまい場所に設置すると、過熱の原因になる
だけでなく、冷媒がもれ出したときは、滞留
して発火・爆発の原因になります。



アースを
接続

- 湿気や水気の多い場所で使うときはアース
(接地) をする
アース線を取り付けないと、故障したり漏電
したときに感電するおそれがあります。

次のような場所で使用する場合は、法令で
アース工事 (D種接地工事) が義務付けられて
います。

- 湿気の多い場所
土間・コンクリート床・貯蔵室など
- 水気のある場所
洗い場など水を扱うところ
水滴が飛び散るところ
地下室など結露しやすいところ

※アース線は別売りです。付属していません。

安全上の注意 つづき



警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。



- 水気の多いところで使用する場合は、漏電遮断器を設置する

水気の多いところに設置する場合は、アースの他に漏電遮断器の設置が義務付けられています。(ご家庭の分電盤に設置されていることがあります。)

詳しくは、お買い上げの販売店または電気工事店にご相談ください。



- アース線は、ガス管や水道管、電話線や避雷針のアース線には絶対に接続しない
爆発・火災の原因になります。

異常時には



プラグを抜く

- 異常・故障時には直ちに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜く
発煙・火災・感電のおそれがあります。

〔異常の例〕

- 異常な音やにおいがする
- 電源プラグ・電源コードが異常に熱くなる
- 電源コードを動かすと、通電したりしなかったりする
- 触れるとピリピリ電気を感じる
- 使用を中止し、お買い上げの販売店またはアイリスコールへお問い合わせください。



- 冷蔵庫の冷媒やプロパンガス・都市ガスなどのガスがもれたら、冷蔵庫やコンセントに触れずに窓を開けて換気する
引火して、発火・爆発の原因になります。

廃棄時は



- 廃棄などで保管するときは、必ずドアパッキンを外す
幼児の閉じ込め事故の原因になります。

- 廃棄するときは、販売店や市町村に引き渡す
放置すると、冷媒もれによる発火・爆発の原因になります。

取り扱いについて



- 冷却回路(配管)に損傷を与えないこと
この商品は霜取り不要です。
冷媒がもれると発火・爆発の原因になります。



- 可燃性のスプレーや爆発のおそれがあるエアゾール缶を入れないこと
または近くで使用しないこと
引火・爆発の原因になります。



- 屋外・小屋・車庫・軒下で使用しない
故障して、ショートや火災の原因になります。
小動物により電気配線を傷付けられたり、雨水の影響により、故障や火災の原因になります。
- 上に乗ったり、重いものを載せたり、ドアにぶら下がったりしない
転倒してけがの原因になります。

- 可燃性高圧ガスが入ったエアゾール缶のような爆発性物質を保存しない
接着剤・ベンジン・工業用アルコール・ライターの本など、揮発性・引火性のあるものは入れないでください。引火・爆発のおそれがあります。

- 製造業者が推薦するもの以外の、除霜を速めるための機械的な器具やその他の手段を用いないこと

- 製造業者が推奨する電気機器以外を食品貯蔵庫内で使用しないこと



水ぬれ禁止

- 風呂場など極端に湿度が高く、水がかかる可能性の高い場所では絶対に使用しない
- 本体を水につけたり、水をかけたりしない
- 冷蔵庫の上に水を入れた容器を置かない
火災・感電の原因になります。



分解禁止

- 分解・修理・改造しない
火災・感電・けがの原因になります。
修理技術者以外の方が修理を行うことは危険です。修理については、お買い上げの販売店またはアイリスコールにご相談ください。



- 自動製氷機の機械部に手を入れない
けがの原因になります。



- 自動製氷は飲料水以外を使用しない



注意

誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり、物的損害が発生するおそれがある内容を示しています。

お手入れのときは



- 棚の取り付けは確実にする
落下すると、けがや保存物の破損の原因になります。



接触禁止

- 底面に手や足を入れない
鉄板の端面でけがをするおそれがあります。
- 背面の機械部分に触れない
やけど・けがの原因になります。

移動・運搬・設置するときは



- すべり止め手袋をして運搬用取っ手を持ち、2名以上で運ぶ
手を滑らせて落下させないようにご注意ください。
- 傷付きやすい床や、柔らかい床（クッションフロアなど）の上では、保護用の板を敷く
床が傷付いたり凹んだりするおそれがあります。
- じゅうたん・たたみ・塩化ビニル樹脂の床には保護用の板を敷く
熱により変形や変色するおそれがあります。
- 中の食品や氷はすべて取り出し、給水タンクの水を捨てる
落下して、破損・飛散・けがの原因になります。



- 横倒しに置かない
コンプレッサーや冷却回路が破損し、冷媒がもれると火災の原因になります。

取り扱いについて



ぬれ手禁止

- 冷凍室内の食品・容器（特に金属製の容器）にぬれた手で触れない
ぬれた手で触れるとくっついて、凍傷の原因になります。くっついてしまったときは、水をかけてはがす、または流水で洗い流してください。
凍傷になったと思われるときは、医師の診断を受けてください。



- 冷凍室にびん類を入れない
中身が凍結により膨張してびんが割れ、けがの原因になります。
- 冷凍室に炭酸飲料を入れない
破裂するおそれがあります。
- 異臭がしたり、変質した食品は食べない
腐敗のおそれがあり、健康を害する原因になります。
- 食品を棚の前端より前に出さない
- ドアポケットに収まらないものを無理に入れない
引っかかって落下し、破損やけがの原因になります。
- 熱いものは入れない
熱いものは、必ず冷めてから入れてください。ガラス棚は、急冷・急熱すると割れることがあります。
- 医薬品・美術品・学術資料の保存など、業務用・特殊用途に使用しない
保存品の劣化の原因になります。家庭用冷蔵庫では、温度管理の厳しいものは保存できません。
- 勢いよくドアを開閉しない
転倒したり、指をはさんだりして、けがの原因になります。また、保存物が破損したり、落下したり、飛散したりするおそれがあります。
- 他の人がさわっているときは、ドアの開閉をしない
- ドア回転の支点部分に触れない
指などをはさんでけがをするおそれがあります。

使用上の注意

- ドア内側に小さな穴がありますが、不良ではありません。
断熱材の発泡時に空気を抜くのに使用した穴です。(数か所あります。)
- 本体背面のシールは、はがさないでください。断熱材の注入口です。
- 使い始めは、ドアを開けると構造材のにおいがすることがありますが、使用にともない消えますので、そのまま使用してください。
- 低温野菜室は高湿のため、露がつく場合がありますが異常ではありません。

停電のときは

- 庫内の温度を保つため、ドアの開閉・新たな食品の保存を控えてください。
- 長期間使用しないときは、電源プラグを抜き、2～3日ドアを開放して庫内を乾燥させてください。
かびやにおいを防止するためです。
- 電源プラグを抜いたときは、6分以上待ってから、差し込んでください。
コンプレッサーに負担がかかり、すぐに動かない場合があります。

冷凍冷蔵庫を廃棄するとき

2001年4月施行の家電リサイクル法では、お客様が使用済みの冷蔵庫を廃棄する場合は、収集・運搬料金と再商品化等料金をお支払いいただき、対象品を販売店や市町村に適正に引き渡すことが求められています。



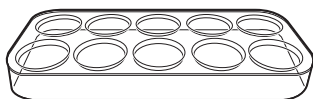
- 廃棄処分するときは、ドアパッキンを外す
- 幼児が遊ぶ場所に放置しない
幼児が閉じ込められる危険があります。

この機器は安全に責任を負う人の監視または指示がない限り、補助を必要とする人（子どもを含む）が単独で機器を用いることを意図しておりません。

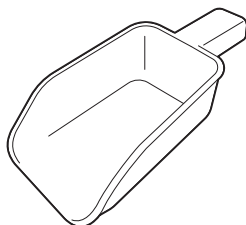
子どもがこの機器で遊ぶことがないように、注意してください。

付属品

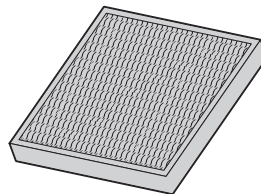
卵ケース



アイスシャベル



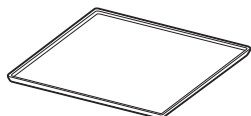
浄水フィルター（予備1個）



※ 初期使用分は、あらかじめ給水タンクに装着されています。

アルミトレイ

（熱伝導が高いため、急冷に適しています）

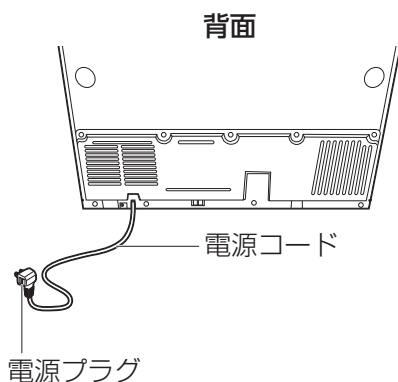
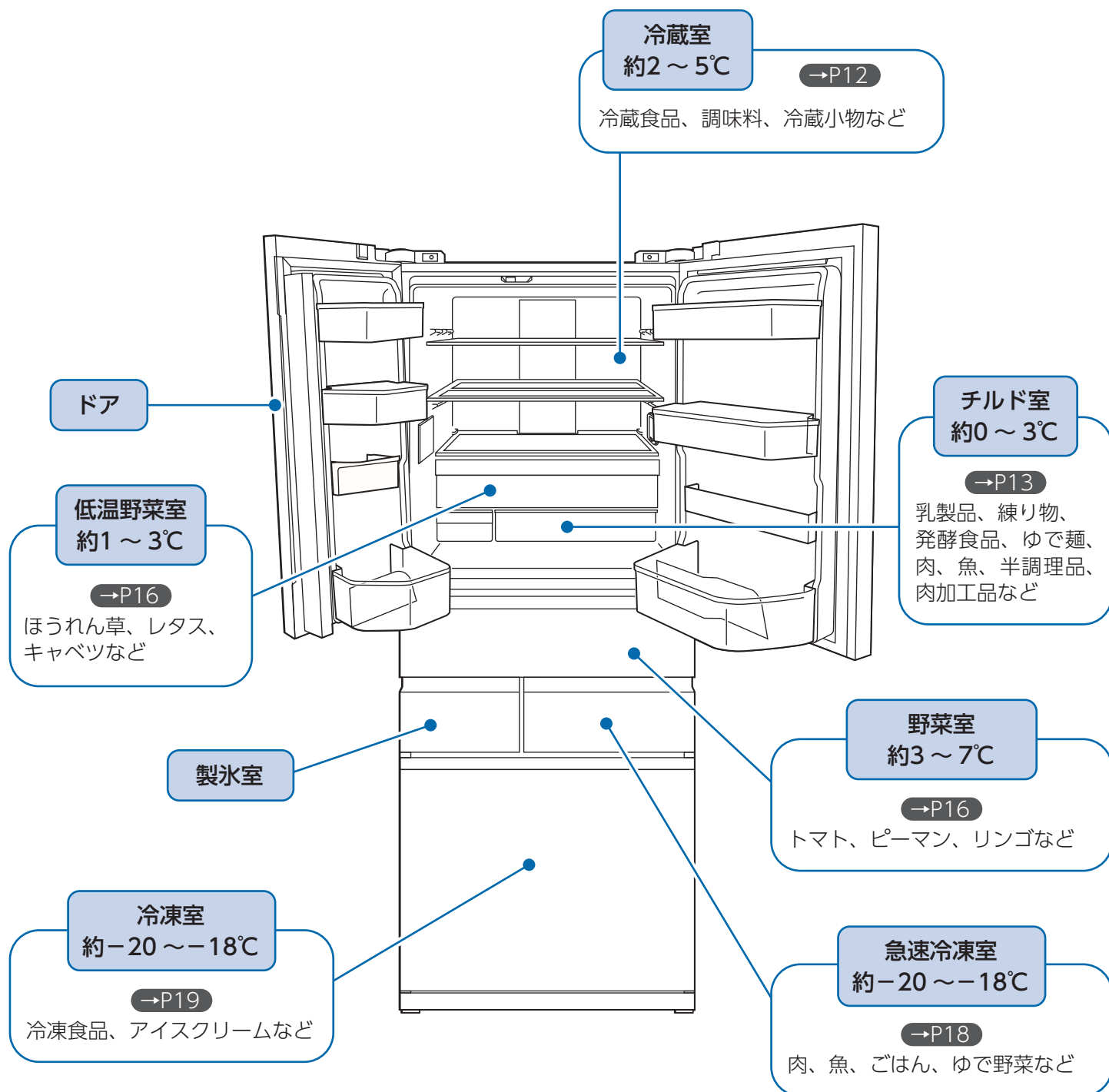


注意

- 冷えたアルミトレイにぬれた手で触れないでください。
ぬれた手で触れるとくっついて、凍傷の原因になります。
くっついてしまったときは、水をかけてはがす、または流水で洗い流してください。

各部のなまえ

- 各室内の詳細な各部名称については、各室の取り扱いかたのページをご覧ください。
- 周囲温度32℃、温度調節位置は「中」で食品を入れずにドアを閉め、安定したときの庫内温度の目安です。使用条件によって多少変動します。



※ イラストはIRSN-50Aです。

準備する

！ お願い

● 設置する前に電源プラグを差し込まないでください。

1

設置する

- ・ 電源コードを挟み込まないように本体を設置してください。

※ 電源プラグはまだ差し込まないでください。

■ 設置場所について

直射日光や暖房機器の熱の当たらないところ

風通しの良いところ

- ・ 冷却能力の低下を防ぐため、風通しをよくして放熱してください。
- ・ 周囲から図の距離を空けてください。

ラジオやテレビから離れたところ

- ・ ラジオやテレビにノイズが入ることがあります。

電源プラグが掃除しやすいところ

- ・ 電源プラグのほこりは定期的にとってください。

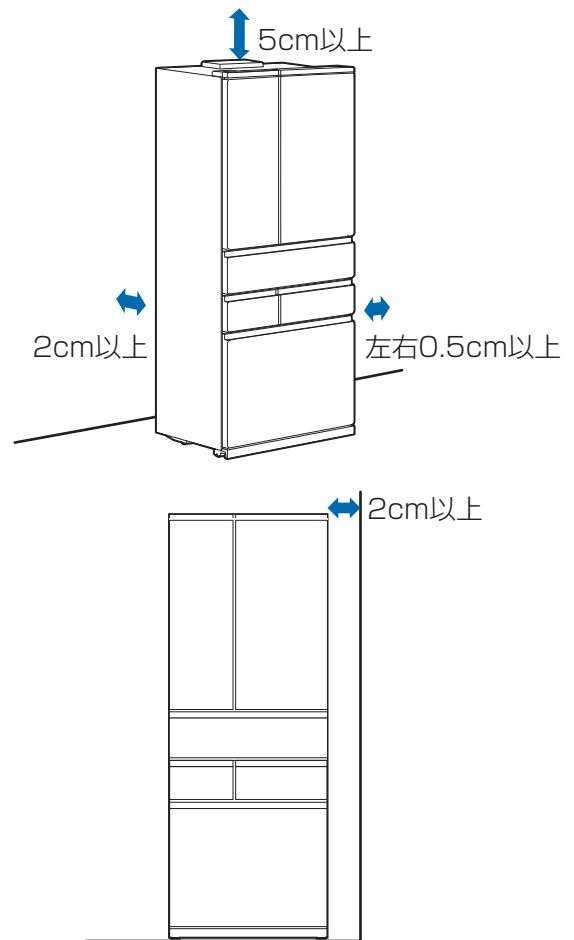
湿気の少ないところ

腐食性ガスの発生しないところ

- ・ 配管が劣化・破損すると、冷媒もれの原因になります。

水平で丈夫な床の上

- ・ 不安定な場所への設置は、振動や騒音の原因になります。
- ・ 熱による変形や変色の防止のため、じゅうたん・たたみ・塩化ビニル樹脂の床には保護用の板を敷いてください。



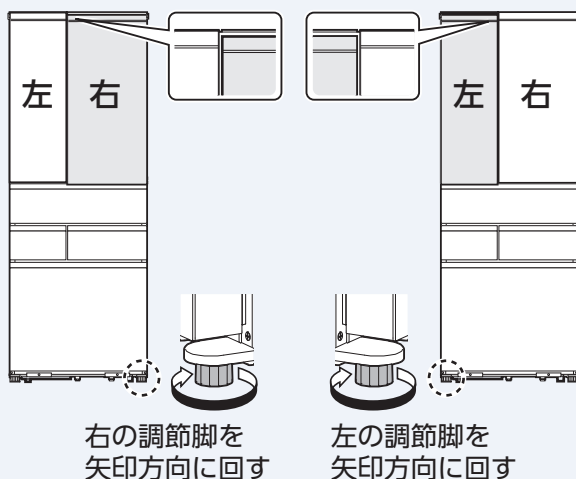
※ 壁側に設置する場合は壁から2cm以上離してください。冷蔵室のドアが十分に開かず、ケースが取り出せない場合があります。

2 固定する

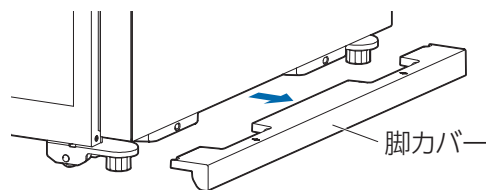
- ① 脚カバーを持って手前に引き、脚カバーを取り外す
※ 購入時は冷蔵庫内に入っています。

- ② 冷蔵庫を水平に調節する

右のドアが下がっている場合 左のドアが下がっている場合

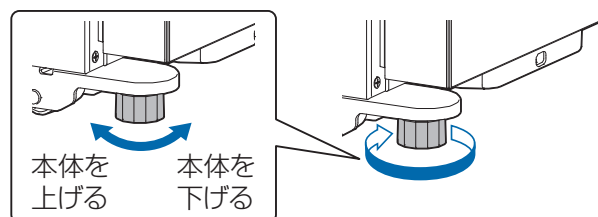


- ③ 脚カバーのつめを穴に差し込み取り付け

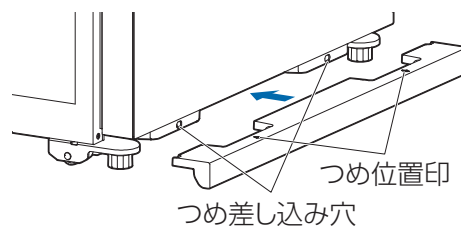


【調節方法】

調節脚（前後2箇所）を回して、左右のドアが平行になるように調節する。



※ 冷蔵庫本体が床になじみ、ドアが平行になるまでに、ある程度時間が（1～5日）かかる場合があります。

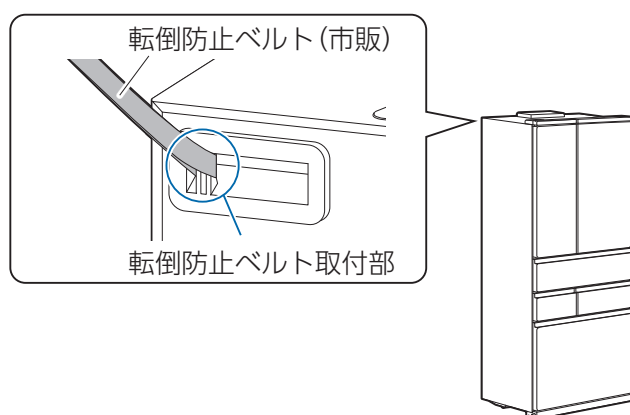


地震に備えて

- 地震で倒れないように、転倒防止処置をしてください。
冷蔵庫背面の転倒防止ベルト取付部に、市販の転倒防止ベルトを取り付け、背面の壁などに固定します。



- 転倒防止ベルトを固定する壁は、十分な強度があることを確認してください。
石膏ボードなどに取り付けると、壁を破損するおそれがあります。



3 庫内の梱包材を外し、庫内を拭く

❗ お願い

- 棚などの部品が取り付けられていることを確認してください。
- 水またはぬるま湯（40℃以下）を含ませたやわらかい布をよく絞って、庫内をよく拭いてください。

4 アース (接地) をおすすめします (→P3)

- 市販のアース線を用意し、片方を本体背面下部にあるアース用ねじで固定してください。



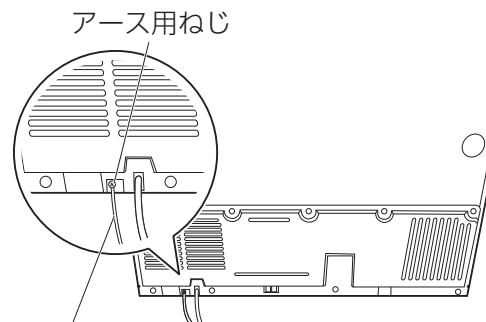
- アース線は、ガス管や水道管、電話線や避雷針のアース線には絶対に接続しない
爆発・火災の原因になります。

アース端子付きコンセントがある場合

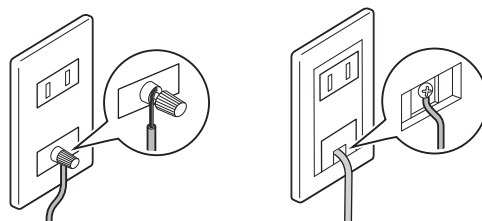
- アース線先端の銅線部分を、アース端子に差し込んで固定します。
- ふた付きの場合はふたを開けて、つないでください。

アース端子付きコンセントがない場合

- アース棒の設置が必要です。販売店または電気工事店に相談してください。



アース線 (市販)
緑／黄
軟銅線 断面積 2.0mm² 以上
(直径 1.6mm)



- ふたつきはふたを開ける

5 電源プラグを差し込む

- ※ 冷蔵庫はコンプレッサーが動作するときに、定格の数倍の電流が流れることがあります。電源は交流100V、定格15A以上のコンセントを単独で使ってください。

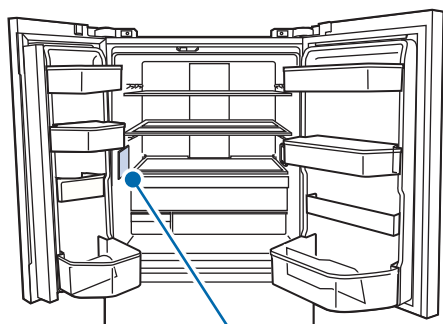
! お願い

- 電源プラグを抜いたときは、すぐに差し込まないでください。
コンプレッサーに負担がかかり、故障の原因になります。6分以上待ってから差し込んでください。

庫内の冷却が始まります。

- 庫内を冷やすために約4 ～ 10時間 (夏場は約24時間) 何も入れない状態で運転してください。
- ※ 庫内が冷えるまでは、できるだけドアを開閉しないでください。

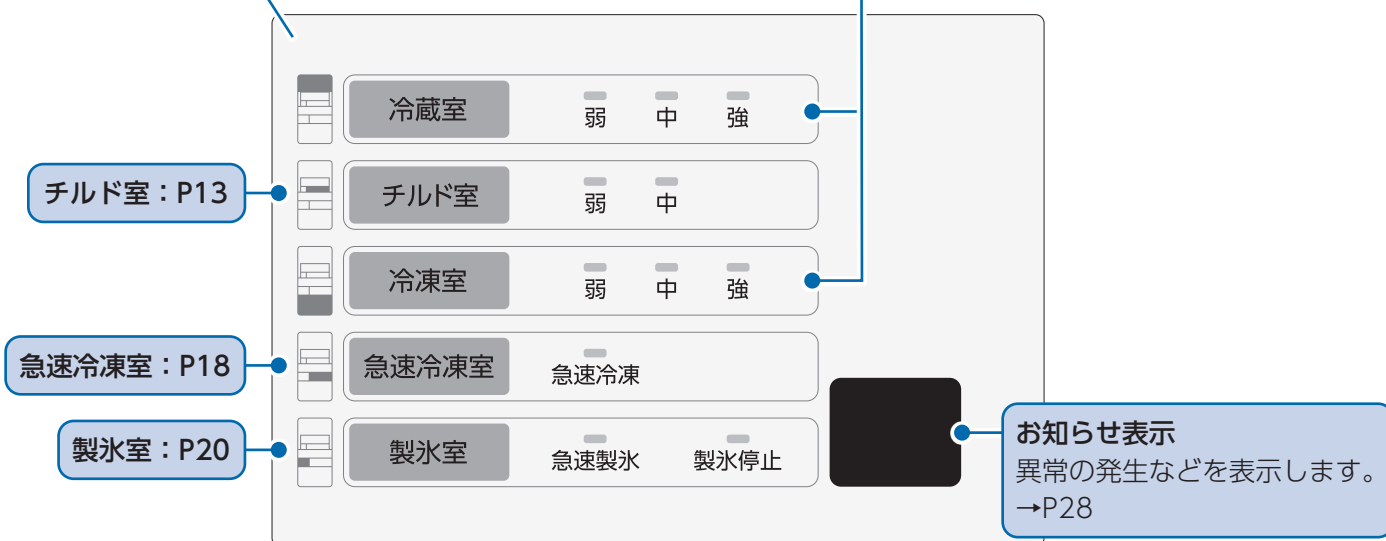
操作パネルの使いかた



■ 温度調節

冷蔵室の温度を調節する場合 **冷蔵室** を押す。

冷凍室の温度を調節する場合 **冷凍室** を押す。



取り扱い
かた

温度調節の目安

周囲温度32℃、食品を入れずにドアを閉め、安定したときの目安

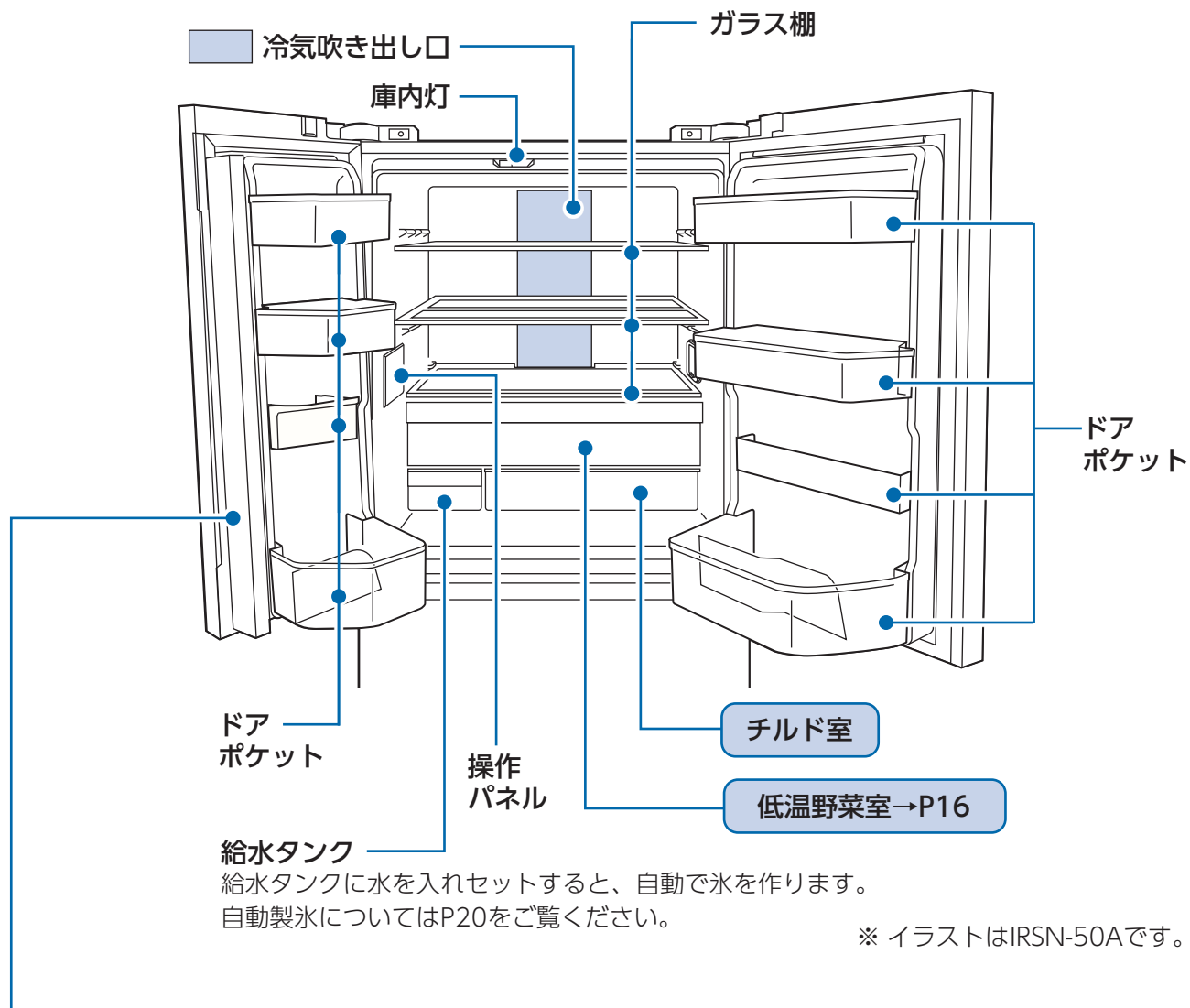
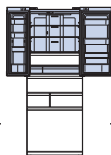
	弱	中	強
冷蔵室	「中」より約2～3℃高め	約2～5℃	「中」より約2～3℃低め
チルド室	「中」より約1～2℃高め	約0～3℃	—
冷凍室	「中」より約2～3℃高め	約-20～-18℃	「中」より約2～3℃低め

※ 普段は、冷蔵室・冷凍室は「中」でお使いください。

ドアアラーム

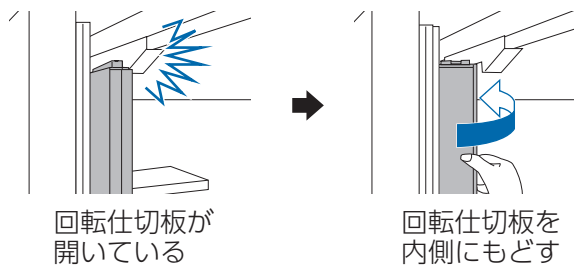
ドア（冷蔵室、冷凍室、製氷室）を1分以上開放すると1分ごとにアラームが鳴り、お知らせ表示に  と表示されます。
アラームはドアを閉めると止まります。
音量調節や解除はできません。

冷蔵室

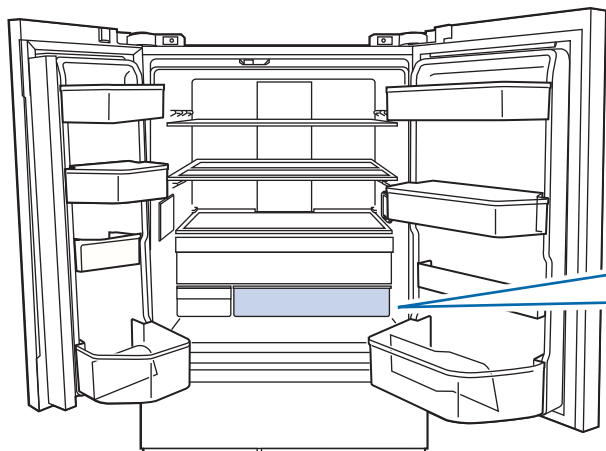


回転仕切板

左右のドアのすき間をふさぐためのものです。
開いている場合は、内側に戻してからドアを閉めてください。
開いたまま閉めると破損のおそれがあります。



チルド室



チルド室の使いかた

チルド

冷蔵室より低い温度で食品を保存できます。
生鮮食品や加工食品の保存におすすめです。

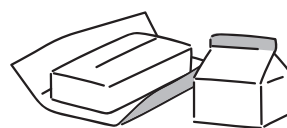
1 チルド室の設定「弱」または「中」を選ぶ



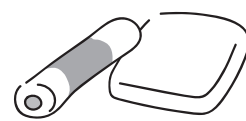
2 食品を入れる

チルドは凍結が苦手な食品の保存に便利です。
部分的に凍るときは食品の位置を動かすか、
チルド室を「弱」に設定してください。

おすすめの食材



乳製品



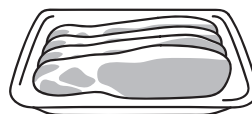
練り物



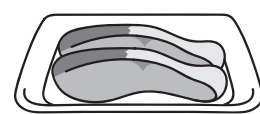
発酵食品



ゆで麺



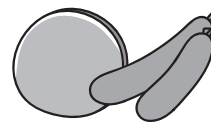
肉



魚



半調理品



肉加工品

など

冷蔵庫：食品の入れかた

食品保存のコツ

- ポリ袋・ラップ・密閉容器で保存する
(におい移りや乾燥の防止)

かんきつ類の精油成分は、
庫内プラスチック部分が
変質する原因に、塩分が
多い食品は、さびなどの原因になります。



- 常温まで冷ましてから
(他食品への悪影響・故障の防止)

- ドアの開閉は手際よく
(庫内の冷え悪化・霜の防止)

- つめ込みすぎない
(庫内の冷え悪化の防止)

- 缶・びん・水気の多い食品は
冷気吹き出し口から離す
(食品凍結の防止)

冷蔵庫での保存に向かないもの



バナナなどのトロピカルフルーツ
(変質のおそれ、食べる直前に冷やす)



さつまいも・さといもなど
(腐敗のおそれ)

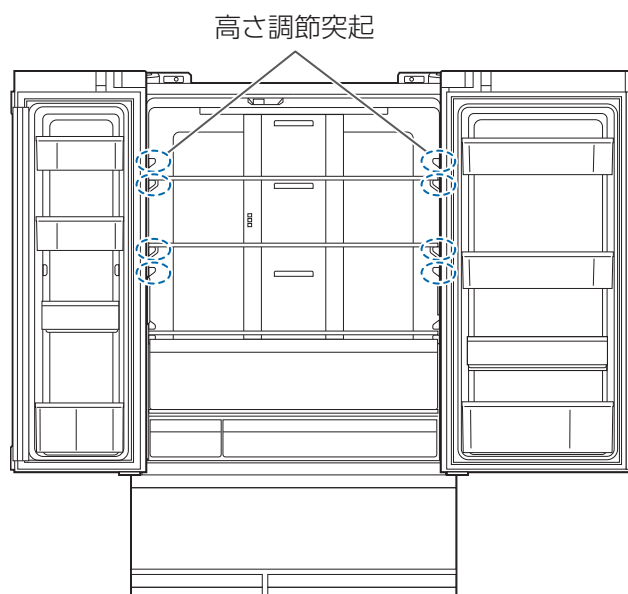
！ お願い

- その他の野菜・くだものなどでも、冷やすと風味が落ちるものがあります。食べる直前(約2～3時間前)に冷蔵庫に入れるなど、適切に使用してください。

ガラス棚の高さを調節する

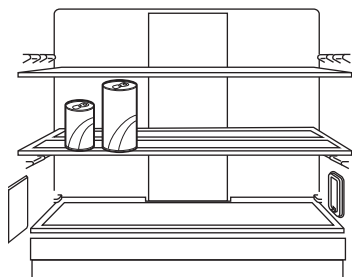
入れる食品や飲料の大きさによって、ガラス棚の高さを調節すると無駄なく収納できます。

- 高さ調節突起でガラス棚を置く位置を変更すると高さを自由に調節できます。
- ガラス棚の取り外しかた・取り付けかたについては、P22を参照してください。

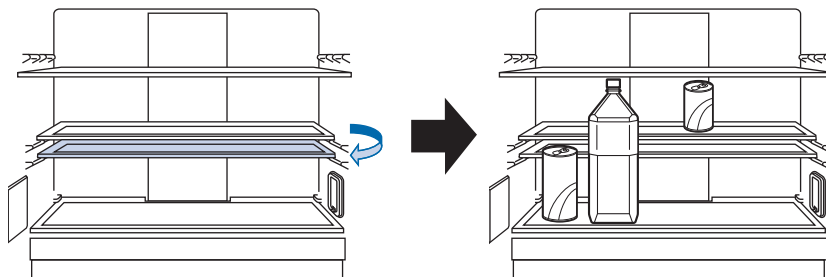


※ イラストはIRSN-50Aです。

ご購入時の状態

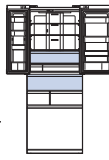


背の高いものを収納したいとき



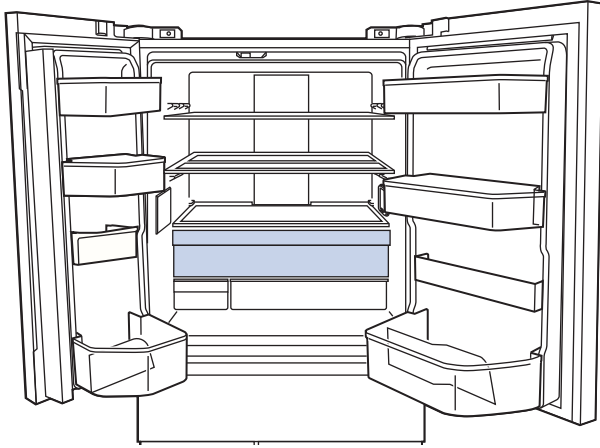
- ガラス棚を移動させることで2Lペットボトルも収納できます。
- ※ IRSN-50Aのみです。

野菜室



低温野菜室

低温高湿環境で野菜を長持ちさせます。
使用時は確実に奥まで閉めてください。



おすすめの食材



ほうれん草



レタス



キャベツ



白菜



にんじん



大根

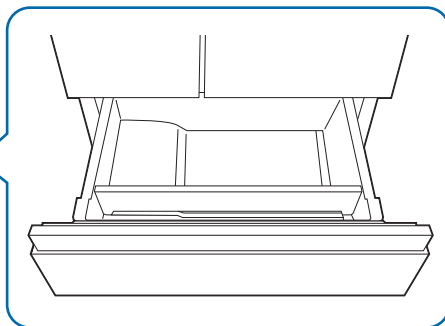
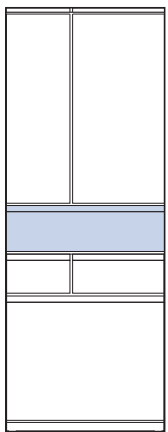


ブロッコリー

など

野菜室よりも低温環境です。
夏野菜など低温障害を起こしやすい食材の保存には向きません。

野菜室



おすすめの食材



ピーマン



きゅうり



さやいんげん



おくら



トマト



いちご



りんご

など

※長期間冷蔵庫で保存すると、食品によっては変色したり味が落ちたりします。また、ビタミンなどの栄養価が減ったり、カビが生えたり、腐ったりすることもあります。

！ お願い

- 野菜室や食品表面などに露が付くことがありますが、異常ではありません。
- 野菜室内に水がたまると食品が傷みやすくなるので、乾いた布でふき取ってください。
- 米などの乾燥食品を野菜室に保存するときは保存袋、密封容器に入れてください。
- 食品はケースの高さよりも上に入れないでください。
ケースが破損したり、ドアがきちんと閉まらず露付きや冷えが悪くなる原因になります。

野菜を保存するときのコツ

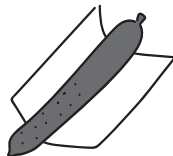
キャベツ・レタス

芯をくり抜き、ぬらしたペーパータオルを詰める



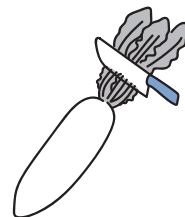
きゅうり

水気をよく拭き取る



大根・にんじん

葉を落とす



ほうれん草・小松菜・チンゲン菜

傷んだ葉は取り除く



ブロッコリー・カリフラワー

袋に入れる(房が取れやすいため)



しいたけ

傘を下にして並べる



かぼちゃ(カット)

腐りやすい種の部分を取り除く



玉ねぎ(カット)

切り口をラップして袋に入れる



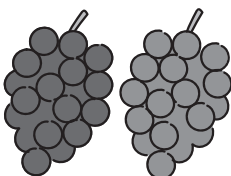
いちご

ヘタを下にし、重ねないように浅い容器に移す



ぶどう

房ごと、重ねないように保存



りんご

袋に入れる(エチレングスが発生するため)※キウイなどを一緒に入れると、早く熟します



取り扱いかた

常温(冷暗所)がおすすめの野菜

冷暗所とは、温度が低く一定に保たれ、直射日光が当たらない場所のことです。



じゃがいも



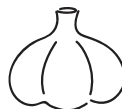
かぼちゃ(丸ごと)



さつまいも



玉ねぎ(丸ごと)



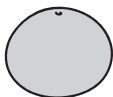
にんにく

低温障害を起こしやすい食品

低温障害を起こしやすいため、食べる直前(約2〜3時間前)に冷蔵庫で冷やすとおいしく食べられます。



バナナ



グレープフルーツ



パイナップル



マンゴー



パパイア



アボカド

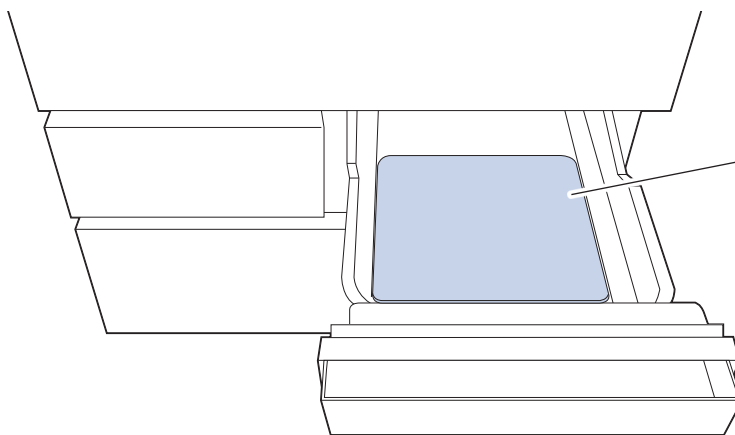
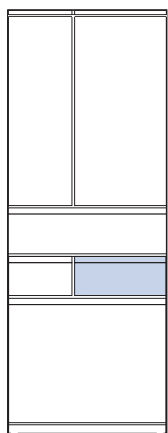


レモン

冷凍室



急速冷凍室



アルミトレイ
アルミトレイによって
すばやく冷却します。

料理のあら熱取り、肉・魚やごはんを素早く冷凍するときにお使いください。
熱のある食品を冷凍する場合は、熱が伝わるためほかの冷凍食品と一緒に入れないでください。

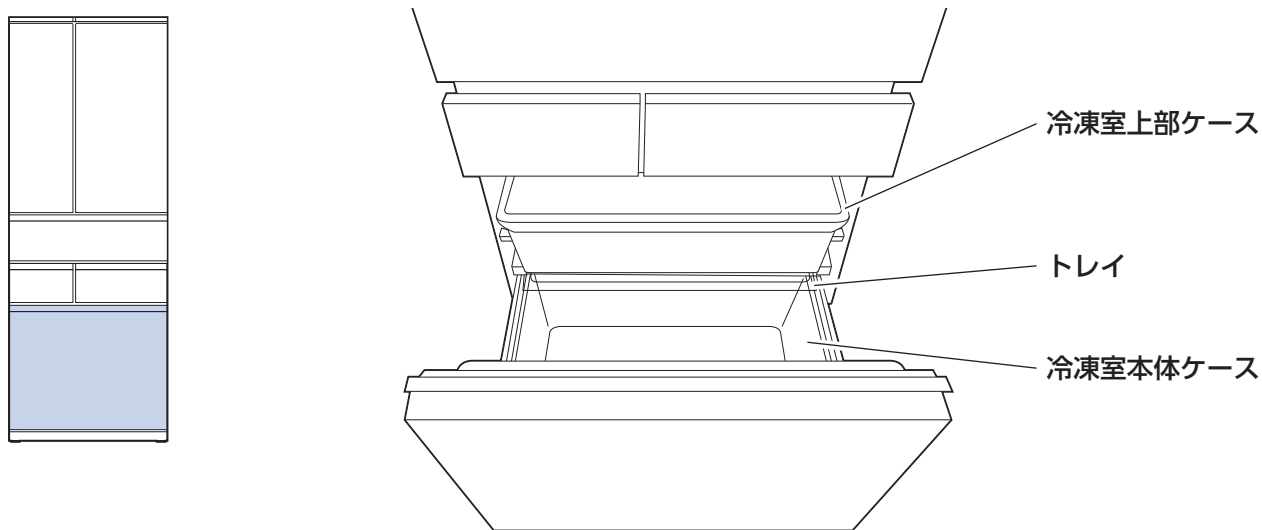
設定のしかた

操作パネルの「**急速冷凍室**」を押してください。
急速冷凍ランプが点灯し、急速冷凍を開始します。
急速冷凍は6時間で自動的に終了します。



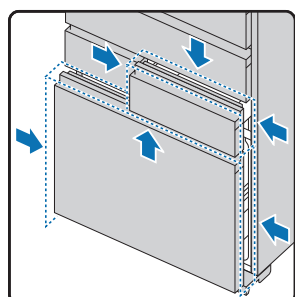
※急速冷凍モードを中止するときは、「**急速冷凍室**」を再度押してください。
※急速製氷モードと同時に設定できません。

冷凍室



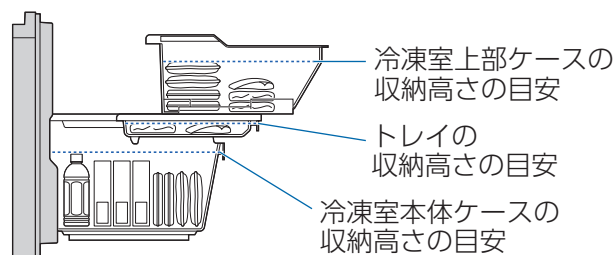
！ お願い

- ドアを開閉するときは、静かに開閉してください。勢いよく開閉すると、食品が背面に落下したり、ケースやトレイが破損する原因になります。
- ケースやトレイに入れる食品は、下図の収納高さの目安より下に入れてください。
ドアが確実に閉まらなると、ドアパッキンにすき間ができ、冷えが悪くなったり、霜付きや破損の原因になることがあります。
- 冷凍室上部ケースはドアを開いたときに一緒に引き出されません。
(余分な開け閉めによる冷気もれを低減し、温度上昇を抑えます。)



すき間ができている状態

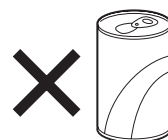
横から見た断面図



冷凍室：食品の入れかた

食品保存のコツ

- ケース・トレイに収まるように入れる
(ドアが閉まらない・庫内破損の原因)
※ ドアにすき間があると庫内が十分に冷えません。
- 冷凍されていない食品を一度に多く入れない
(庫内の食品へ悪影響を与える原因)
※ 庫内温度が上がり、他の食品に影響を与えます。
- 乳脂肪分の多いアイスクリームは上部ケースには入れない
(アイスが溶ける原因)
※ 上部ケースで保存すると柔らかくなる場合があります。
- 炭酸飲料を入れない
(破裂による庫内汚損の原因)



自動製氷の使いかた

給水タンクから水を送り、自動で氷を作ります。

！ お願い

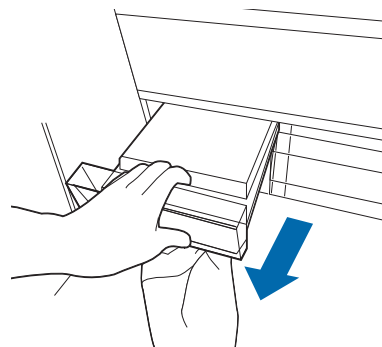
- 給水タンクは使用する前に必ず水洗いしてください。
- はじめて氷を作るとき、1週間以上氷を作らなかったときは、製氷皿の洗浄(→P25)をしてください。においやほこりが付いていることがあります。

●使用する水について

- 氷を作るときの水は、水道水をおすすめします。
- ミネラルウォーター(硬度100mg/L以下)や浄水器の水、井戸水、一度沸騰させた水などを使う場合は、雑菌や水あか、ぬめりなどが発生しやすいため、こまめに給水タンクを洗ってください。
- 熱湯(約60℃以上)やジュースなど、水以外のものは給水タンクに入れないでください。故障や製氷不良の原因になります。

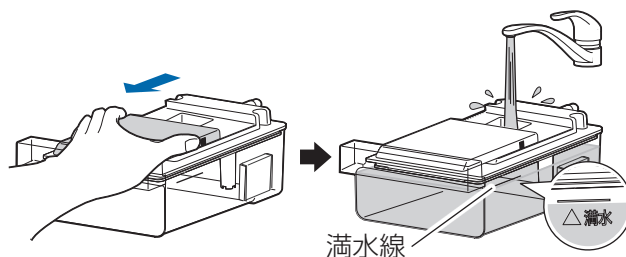
1 冷蔵室内の給水タンクを取り出す

- 給水タンクを取り出すときは、給水タンクの取っ手を掴み、ゆっくりと手前に引き出してください。



2 給水タンクに水道水を入れる

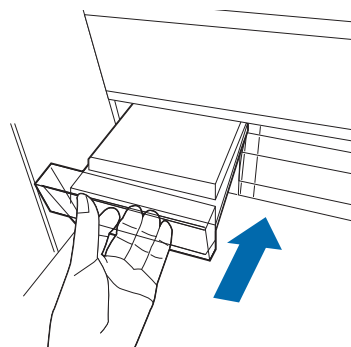
- 給水タンクのふたを開け、水を入れてください。
- 給水後はふたをしっかりと閉めてください。



！ お願い

- 「満水線」より上に水を入れないでください。水がこぼれることがあります。
- 水がこぼれないように水平に持って運んでください。
- ふただけを持って運ばないでください。

3 冷蔵室内に給水タンクを奥まで確実に差し込む

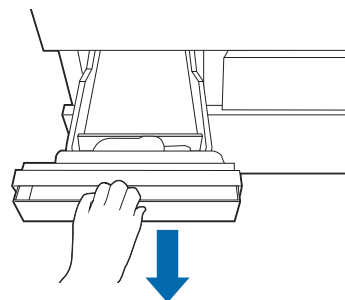


！ お願い

- 水平に静かに押し込んでください。タンクを傾けたり揺らしたりすると、水がこぼれることがあります。
- 奥まで確実に押し込んでください。正しく差し込まないと、氷ができないことがあります。

氷を取り出すときは

- ・製氷室を引き出し、アイスシャベルで氷をすくって取り出してください。
- ・製氷室を引き出すときは、氷が落ちないように静かに引き出してください。



製氷時間

	1回(約10個)の製氷時間
通常製氷	約140分
急速製氷	約70分

- ・製氷は庫内が十分冷えてから始まります。冷蔵庫を使い始めたとき、夏場など周囲温度が高いときには、氷ができるまで1日以上かかることがあります。
- ・ドアの開閉が多いとき、一度に多量の食品を入れたとき、冬場など冷蔵庫の周囲温度が低いとき、自動霜取りをしているとき、冷蔵庫周辺の放熱スペースがせまいときは、製氷時間が長くなります。

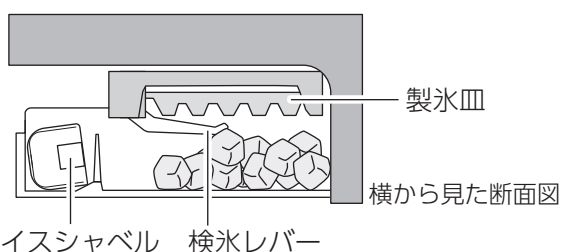
急いで氷を作るとき

- ・操作パネルの「製氷室」を押して、急速製氷ランプを点灯させてください。急速製氷を開始します。



- ・通常の製氷に戻る際は、操作パネルの「製氷室」を押してください。急速製氷ランプと製氷停止ランプが消灯しているときが通常製氷です。
- ※ 急速冷凍モードと同時に設定できません。
- ※ 3回製氷後もしくは5時間経過後に急速製氷は自動終了します。(通常の製氷に戻ります)

貯氷



- ・貯氷量は検氷レバーで検知します。貯氷量が一定以上になり、検氷レバーが氷に当たると、追加で氷が作られなくなります。
- ・たまった氷は平らにならしてください。氷が部分的にたまり検氷レバーが当たると、製氷が止まります。

氷をならさないとき		
手前		満水
		約40個
氷をならしたとき		
手前		満水
		約120個

- ・水の中に溶け込んでいた空気の細かい泡が氷の中に閉じ込められたり、水に含まれるミネラル成分が凍るときに固まったりすると、氷が白くにごることがありますが、害はありません。

製氷を止めるとき

- ・操作パネルの「製氷室」を押して、製氷停止ランプを点灯させてください。製氷を停止します。



- ・製氷を再開するときは、操作パネルの「製氷室」を再度押してください。製氷停止ランプが消灯し、製氷を開始します。
- ※ 製氷皿の氷は、製氷停止を解除した後、製氷室に落ちます。
- ※ 製氷を止めても、製氷室の温度は変わりません。



注意

- 貯氷スペースに食品など氷以外のものを入れない
故障や氷ができないなどの原因になります。
- 製氷室のドアはゆっくり開閉する
氷がこぼれることがあります。

部品の取り外しかた・取り付けかた

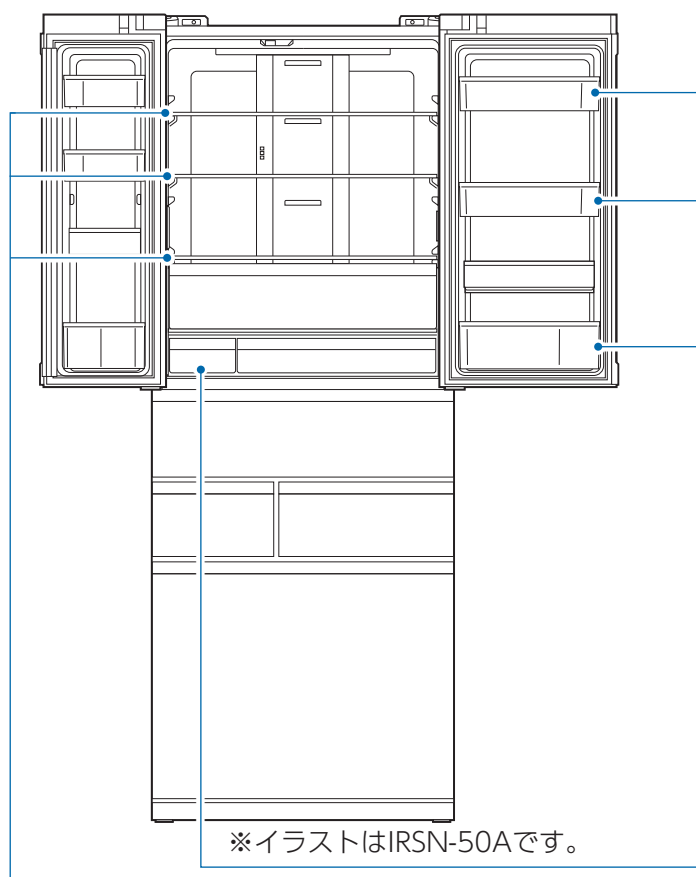


警告

- お手入れは、電源プラグをコンセントから抜いて行う
- 本体の水洗いはしない

❗ **お願い**

- 一度抜いた電源プラグは、すぐに差し込まないでください。コンプレッサーに負担がかかり、故障の原因になります。6分以上待ってから差し込んでください。

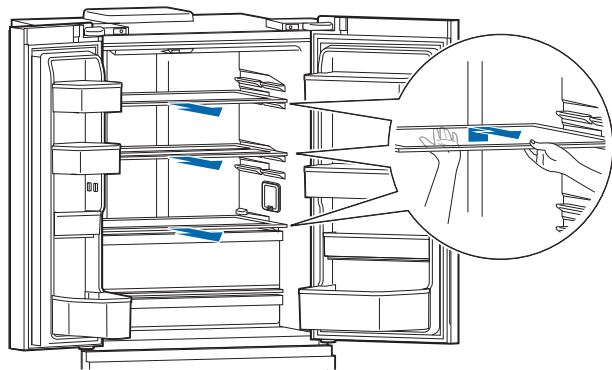


※イラストはIRSN-50Aです。

冷蔵室 (ガラス棚)

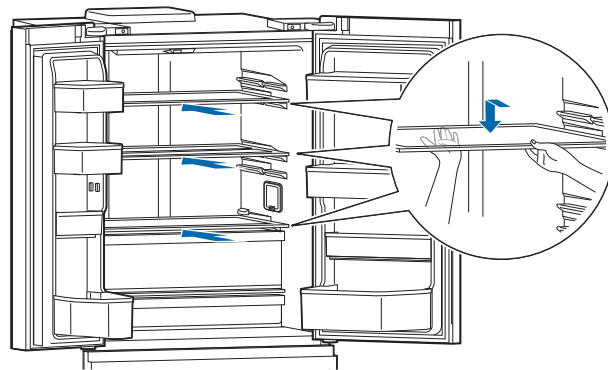
取り外しかた

手でガラス棚の下側を支えながら少し持ち上げて、ゆっくりと手前に引き出してください。



取り付けかた

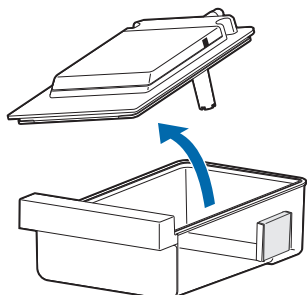
ガラス棚の両端を本体の溝に合わせて、ゆっくりと奥まで差し込んでください。



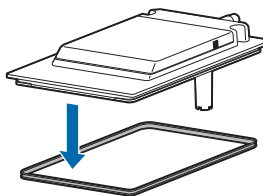
冷蔵室 (給水タンク)

部品の取り外しかた

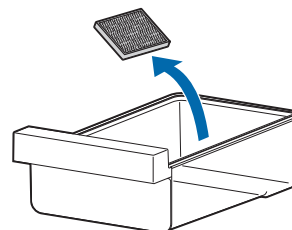
① 給水タンクを取り出し、ふたを外す



② パッキンを外す



③ 給水タンクから浄水フィルターを外す

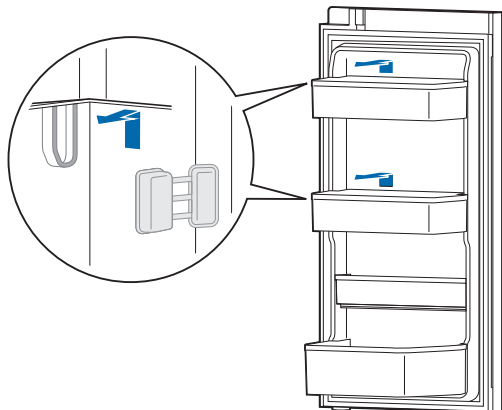


※取り付けは逆の手順で行ってください。

冷蔵室 (ドアポケット)

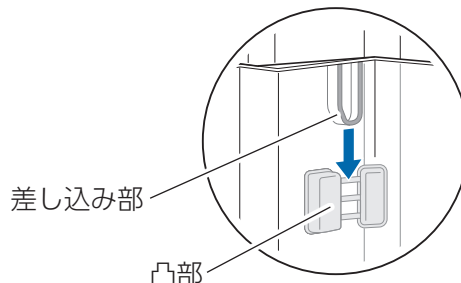
取り外しかた

両端を持ち、上へ持ち上げて外してください。



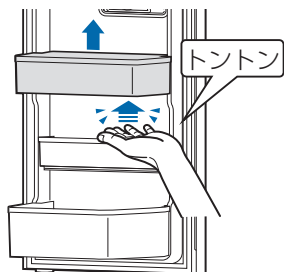
取り付けかた

取り付けるときは、ドアの凸部の奥に差し込み部を奥まで差し込んでください。



ポイント

- 取り外しにくいときは、底面を左右交互にトントンとゆっくりたたいて外してください。



※イラストはIRSN-50Aです。

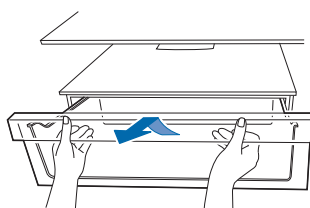
チルド室、低温野菜室、野菜室、冷凍室、急速冷凍室、製氷室 (ケース・トレイ)

取り外しかた

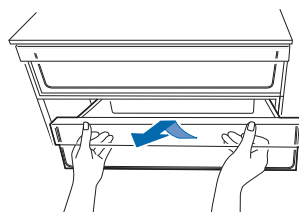
- ① ドアをいっぱいまで引き出す
- ② 手前を持ち上げ斜めに取り出す

取り付けかた

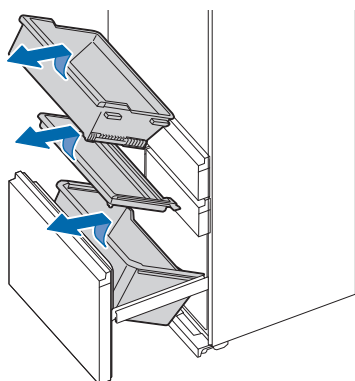
取り付けるときは、外したときと逆の手順で取り付けてください。



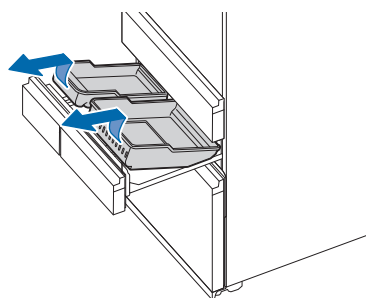
低温野菜室



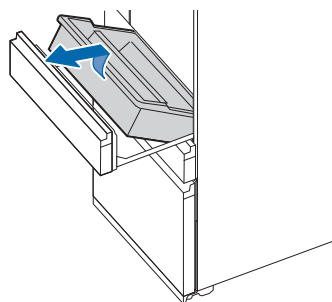
チルド室



冷凍室



製氷室 急速冷凍室



野菜室

お手入れ



警告

●お手入れの際には必ず電源プラグをコンセントから抜く

機能低下や故障を防ぐために定期的にお手入れしてください。

！ お願い

- 酸性・アルカリ性の洗剤・薬品、漂白剤、金属たわし、ナイロンたわし、研磨材入りのスポンジなどは使用しないでください。
- こびり付いた汚れなどを落とす際に、刃物やかたいものなどを使用しないでください。
- 庫内の汚れは、放置するとこびり付いて取れにくくなります。汚れたらすぐにお手入れしてください。
- ドアパッキンは汚れると傷みやすいので、こまめにお手入れしてください。

給水タンク

週に1回程度

ふた、パッキン、浄水フィルターを取り外し、水洗いする

取り外しかたは、P22を参考にしてください。



ポイント

- 浄水フィルターは、破れないように優しく水洗いしてください。
- 浄水フィルターは約3年を目安に交換してください。破れている、においが気になる場合は交換してください。
- 予備の浄水フィルターが大きく取り付けにくい場合は、フィルターを潰して取り付けてください。

冷蔵室内・冷凍室内・外側・ドア・ドアパッキン

月に1回程度

よく絞ったふきんで拭く



ポイント

- 汚れが取れにくいときは、薄めた台所用洗剤（中性）を含ませた柔らかい布で拭いた後、洗剤分が残らないようにかたく絞った布などで水拭きしてください。

冷蔵室（ガラス棚・ドアポケット）・ 冷凍室（ケース・トレイ）・ 低温野菜室・野菜室（ケース）

3か月に1回程度

よく絞ったふきんで拭く、または取り外して水洗いする

取り外しかたは、P22・23を参考にしてください。



ポイント

- 洗った後、よく乾かしてから取り付けてください。

背面・壁・床

年に1回程度



注意

- 背面の機械部分には触れない
運転中・停止直後は高温のためやけどのおそれがあります。

ほこりなどの汚れを取り除く



ポイント

- 年に一度は冷蔵庫を移動させて、ほこりなどを取り除いてください。

電源プラグ

年に1、2回程度

電源プラグをコンセントから抜き、乾いた布でほこりなどを取り除く
電源プラグを抜いたときは、6分以上待ってから差し込んでください。

製氷室

年に1回、しばらく使っていないときなど



警告

●自動製氷機の機械部に手を入れないでください
けがの原因になります。

給水タンクから製氷皿に注水し、製氷室の貯氷スペースへ排水することで製氷皿を洗浄します。
1回の洗浄で約300mLの水を使用します。

お手入れ準備

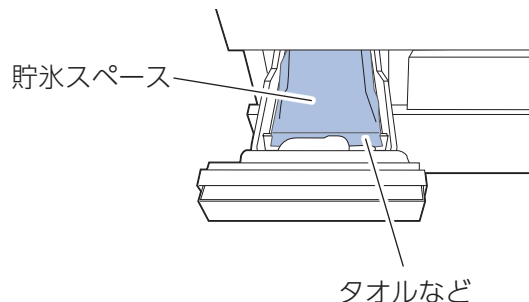
①貯氷スペースを空にする

②貯氷スペースにタオルなどを敷き、ドアを閉める
・貯氷スペースの氷は移すか捨ててください。



ポイント

- タオルで水を吸い取ることで、水を捨てる際に、こぼれることを防ぎます。
※ タオルは高く敷かないでください。検氷レバーに当たり、動作不良の原因になります。



③給水タンクに水を入れ、セットする

- ・「満水線」より上に水を入れないでください。水がこぼれることがあります。

④操作パネルの「製氷室」を約3秒長押しする



- ・製氷停止ランプが点滅に切り替わり、♪ピーとブザー音が鳴ります。冷蔵庫のドアを閉めると製氷皿洗浄が始まります。
※ 洗浄中は製氷室を開けないでください。

お手入れ後

洗浄が終わると♪ピーとブザー音が鳴り、製氷停止ランプの点滅が終了します。
ゆっくり製氷室を開け、トレイを取り出してください。
貯氷スペースからタオルを取り出し、トレイを水洗いしてください。



ポイント

- トレイは洗った後、よく乾かしてから取り付けてください。

こまったときは・・・

使用中に異常が生じた場合は、修理を依頼される前に本書をよくお読みの上、以下の点を確認してください。

状態		原因・処置
本体	冷蔵庫の側面が熱くなる	→ 本体の側面および背面などが熱くなることがありますが、これは放熱パイプを内蔵し露付きを防止しているためです。使い始めや夏場は特に熱くなり、約50～55℃になることもあります。発火することはありません。（※庫内の食品への影響ありません。）
	外側に結露する	→ 乾いた布で拭き取ってください。 本製品の側面および背面には結露防止のために放熱パイプが通っていますが、周囲の湿度が高いと、一時的に結露することがあります。
	プラスチック部品に傷のような線がある	→ 傷ではなく、プラスチックを成形する際に発生する跡です。部品の強度に問題ありません。
	閉めたときに他のドアが開く	→ ドアを閉める風圧で、他のドアが開く場合があります。 ゆっくり閉めてください。
	ドアを閉めても庫内灯が点灯する	→ ドアを閉めた後、約3分後に消灯します。
	庫内灯が消灯する	→ 長時間ドアを開けたままにすると、庫内灯が消灯します。 ドアを閉めてください。
冷え	冷えない	→ 電源プラグをコンセントに確実に差し込んでください。 電源プラグがコンセントに確実に差し込まれていない可能性があります。
	冷えが悪い	→ 操作パネルの温度設定で適切に調節してください。 温度設定が「弱」の可能性があり。→P11
		→ 熱いものは、常温で冷ましてから入れてください。 熱いものを入れている可能性があります。
		→ 冷気の通るすき間を空けてください。 食品をつめ込みすぎている可能性があります。
		→ 直射日光や暖房器具の熱の当たらないところに設置してください。直射日光が当たっている、または暖房器具のそばで使用している可能性があります。
		→ 周囲に十分なすき間を空けて設置してください。→P8 周囲の風通しが悪い可能性があります。
		→ つかえているもの、はさまっているものを取り除いて、ドアをきちんと閉めてください。食品がつかえていたり、ドアにものがはさまったりして、ドアがきちんと閉まっていない可能性があります。
		→ 夏場などでドアの開閉が多いときは、温度設定を「強」にしてください。→P11 ドアが長時間開いていたり、開閉が多いと温度が下がりにくくなります。ドアを閉め、開閉を少なくしてください。
		→ 設置直後は庫内が十分に冷えていません。庫内が十分に冷えるまでは約4～10時間かかります。夏場は約24時間程度かかる場合もあります。
	冷蔵庫の食品が凍結する	→ 操作パネルの温度設定で適切に調節してください。冷蔵室の温度設定が「強」の可能性があり。→P11
		→ 水分の多い食品は凍りやすいので、冷氣吹き出し口近くには置かないでください。 水分の多い食品が、奥の冷氣吹き出し口の近くに置かれている可能性があります。
		→ 操作パネルの温度設定で冷蔵室の温度設定を「弱」にしてください。周囲の温度が低い可能性があります。→P11
	庫内に霜が付く	→ 水分の多い食品はラップをして入れてください。水分の多い食品をラップをせずに入れている可能性があります。
		→ つかえているもの、はさまっているものを取り除いて、ドアをきちんと閉めてください。食品がつかえていたり、ドアにものがはさまったりして、ドアがきちんと閉まっていない可能性があります。

状態		原因・処置
冷え	庫内に霜が付く	→ ドアを閉め、開閉を少なくしてください。ドアが長時間開いていたり、開閉が多いと霜が発生する可能性があります。
	庫内や食品表面などに露がつく	→ ドアを頻繁に開けたり、ドアに隙間があると、露がつきます。露が付いたときは乾いた布でふき取ってください。
におい	庫内がにおう	→ においの強い食品は、ラップで包むまたは密閉容器に入れてください。においの強い食品を入れている可能性があります。
		→ 庫内をお手入れしてください。食品かすが庫内に付着している可能性があります。 →P24
音	「ガタガタ」「ゴトゴト」と音がする	→ 水平で安定した場所に設置してください。不安定な場所に設置している可能性があります。調節脚で調整して安定させてください。
		→ 壁などから離して設置してください。周囲の壁などに触れている可能性があります。 →P8
		→ 接触しているものを取り除いてください。周囲に落ちたものが接触している可能性があります。
	音がうるさい	→ 冷蔵庫はコンプレッサーを運転したり停止したりして温度を調節しています。コンプレッサーが動き出すときは少し音が大きくなります。
製氷	水が流れるような音がする	→ そのまま使用してください。冷媒が冷却器の中を流れる音がする場合は異常ではありません。
	氷ができない	→ 製氷が停止になっていませんか。操作パネルの「製氷室」を押して製氷運転中にしてください。ランプ消灯時、運転中です。
		→ 給水タンクに水が入っていないか、水の残りが少なくなると氷ができないことがあります。給水タンクの「満水線」まで水を入れてください。
		→ 給水タンクを確実に奥まで差し込んでください。給水タンクが奥まで押し込まれていない可能性があります。
		→ アイスシャベルが検氷レバーに当たっている可能性があります。アイスシャベルは所定の位置に置いてください。
		→ 氷が貯氷スペースの奥側に偏っていませんか。検氷レバーが動作し満氷と検知すると、製氷が止まります。氷を手前にならしてください。
		→ 設置直後は庫内が十分に冷えるまで時間がかかります。最初の氷ができるまで24時間程度かかる場合もあります。
	製氷が遅い	→ 冷蔵庫の周囲の温度が高かったり低かったりすると、庫内が十分に冷えないため、氷ができるまで時間がかかることがあります。
		→ 給水タンク設置直後は、すぐに給水動作をしないため、製氷開始まで時間がかかることがあります。
		→ 製氷室が奥まできちんと入っていない可能性があります。つかえているもの、はさまっているものを取り除いてください。
		→ 冷凍室の温度設定が「弱」になっていませんか。庫内が十分に冷えていないため、氷ができるまで時間がかかることがあります。冷凍室の温度設定を「中」にしてください。
	氷に突起ができる	→ 製氷皿の溝部分にたまった水が凍ったものです。異常ではありません。
	氷が丸くなる 氷同士がくっついている	→ 長期間貯氷した場合、自然に小さくなったりくっついたりします。アイスシャベルで氷が離れる程度であれば問題ありません。
		→ 大量の食品を一度に収納しないようにしてください。また、ドアの開閉回数や開閉時間をできるだけ少なくしてください。
		→ 製氷皿の溝部分にたまった水が凍り、氷同士がくっつくことがあります。異常ではありません。

こまったときは・・・ つづき

状態		原因・処置
製氷	氷が白くにびけている	→ 水の中に溶け込んでいた空気の細かい泡が氷の中に閉じ込められたり、水に含まれるミネラル成分が凍るときに固まったりすると、氷が白くにびくことがあります。害ではありません。
	トレイに白い粉がたまる	→ 水に含まれるミネラル成分が凍るときに固まったものです。害はありません。
	氷が小さい	→ 給水タンクの水が少なくなっています。給水タンクの「満水線」まで水を入れてください。水が少なくなると、氷が小さくなることがあります。
	氷がにおう	→ 給水タンクの水が古かったり、におったりしませんか。1週間を目安に、給水タンクと浄水フィルターのお手入れ、水の交換を行ってください。また、浄水フィルターは約3年を目安に交換してください。 浄水フィルターが大きく取り付けにくい場合は潰して取り付けてください。 → 長期間貯氷していませんか。食品のにおいが氷につくことがあります。氷を入れ替えてください。
お知らせ表示	 (0の部分にはエラー内容に対応した数値が表示されます)	→ 異常が発生している可能性があります。 お買い上げの販売店または、アイリスコールに表示内容をご連絡ください。
		→ ドアが開いています。確認して閉めてください。
		→ デモモードになっています。(冷却運転停止) デモモードを解除してください。冷蔵室・冷凍室のドアを開け、操作パネルの「冷凍室」・「急速冷凍室」をブザーが鳴るまで同時に押してください。

それでも解決できないときは

お買い上げの販売店またはアイリスコールにお問い合わせください。



警告

●ご自分で分解・修理・改造をしないでください。

移動・運搬するときは

！ お願い

- 故障の原因になるので、横積みはしないでください。
- この冷凍冷蔵庫の電源は50 / 60Hz共用です。周波数の切り替えは必要ありません。

1

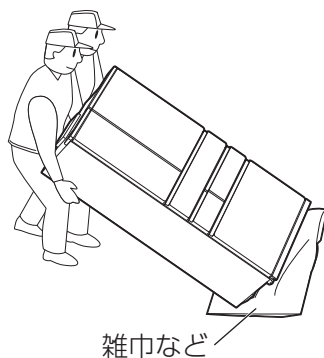
始めに

食品・飲料などをすべて取り出す

2

運搬前の準備をする

- ①調節脚を回して購入時の位置に戻す
 - ②転倒防止ベルトを外す
 - ③電源プラグを抜き、アース線を外す
 - ④通路に保護シートなどを敷く
 - ・冷蔵庫内の霜が溶けずに残っていると、移動・運搬時に水がこぼれることがあります。
- 背面下部に雑巾などを敷き、冷蔵庫を後方に傾け水を抜いてください。

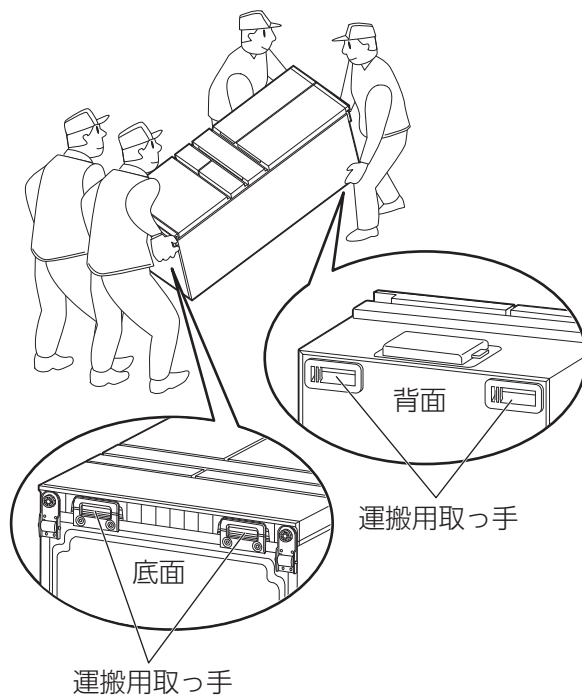


3

運ぶ

すべり止め手袋をして運搬用取っ手を持ち、2名以上で運ぶ。

- ・手を滑らせて落下させないようにご注意ください。



長年ご使用の冷凍冷蔵庫の点検を！

愛情点検



こんな症状はありませんか

- 電源プラグ・電源コードが異常に熱くなったり、こげくさいにおいがする
- 本体に触れるとピリピリ電気を感じる
- 運転中に異常な振動がある
- 電源コードが傷付いている
- その他の異常や故障がある

ご使用
中止

故障や事故防止のため、電源を切って、コンセントから電源プラグを抜き、必ず販売店に点検を依頼してください。

保証とアフターサービス

必ずお読みください。

■ 保証書

お買い上げの際に、所定の事項が記入されている保証書をお買い上げの販売店より必ずお受け取りください。保証書がないと、保証期間内でも代金を請求させていただく場合がありますので、大切に保管してください。なお食品の補償など製品の修理以外の保証はいたしかねます。

■ 保証期間

保証期間は、保証書に記載されています。
保証期間内に故障した場合は、保証規定にしたがって修理させていただきます。

■ 保証期間経過後の修理

お買い上げの販売店またはアイリスコールにご相談ください。修理により製品の機能が維持できる場合は、ご要望により有料にて修理いたします。

■ 補修用性能部品の保有期間について

当社はこの製品の補修用性能部品の製造打ち切り後、9年間保有しています。
性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ アフターサービスについて

ご不明な点はお買い上げの販売店またはアイリスコールにお問い合わせください。

仕様

型番		IRSN-45A	IRSN-50A
種類		冷凍冷蔵庫	
定格内容積 ^{※1}	全定格内容積	453L	503L
	冷凍室	132L	132L
	冷蔵室	216L	266L
	うちチルド室	9L	9L
	野菜室	66L	66L
	急速冷凍室	24L	24L
	製氷室	15L	15L
冷凍室の性能 ^{※2}	記号	✱ *** フォースター	
	冷凍負荷温度（食品温度）	-18℃以下	
	冷凍食品の保存期間の目安	約3か月	
定格電圧		AC100V	
定格電源周波数		50 / 60Hz	
霜取装置入力		180W	
年間消費電力量 ^{※3}		冷蔵室ドア内側の品質表示銘板に表示	
外形寸法		幅685×奥行699×高さ1701mm	幅685×奥行699×高さ1833mm
質量		約108kg	約115kg
電源コード長さ		約2.3m	約2.3m

※1 定格内容積は、日本工業規格（JIS C 9801-3：2015）に基づき、庫内の温度制御に必要でない部品（ケースなど）を外した状態で算出しています。

※2 冷凍室の性能は、日本工業規格（JIS C 9607）に基づき表示しています。

※3 年間消費電力量は、日本工業規格（JIS C 9801-3：2015）に基づき表示しています。実際の消費電力量は、使用条件によって変動します。

※ 商品の仕様は予告なく変更することがあります。

※ J-Moss（JIS C 0950：2021）の規定に基づき、対象となる6物質（鉛・水銀・カドミウム・六価クロム・PBB・PBDE）の含有について情報を公開しています。詳しくはホームページをご覧ください。

https://www.irisohyama.co.jp/company/socialactivity/j_moss/

冷凍冷蔵庫 型番 IRSN-45A / IRSN-50A

保証書

本書は、お買い上げ日から下記期間内に故障が発生した場合に、下記の保証規定により無料修理を行うことをお約束するものです。

お買い上げ日 ※ 年 月 日		保証期間 お買い上げ日より 本体：1年間、特定部品：5年間 本体：下記以外のすべての部品 特定部品：冷媒循環回路（圧縮機、凝縮器、冷却器、毛細管、配管）	
お客様	お名前		住所・店名 ※販売店 電話（ ） -
	ご住所 〒		
	電話（ ） -		

販売店様へ： ※印欄は必ず記入してお渡してください。

保証規定

- 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書きにしたがった正常な使用状態で故障及び損傷した場合には、弊社が無料にて修理または交換いたします。
- 保証期間内に、故障などによる無料修理をお受けになる場合には、お買い上げの販売店にて、保証書をご提示のうえ、修理をご依頼ください。
- 保証内容は本製品自体の無料修理に限ります。保証期間内においても、食品など、その他の保証はいたしかねます。
- ご転居や贈答品などで本保証書に記入してある販売店に修理をご依頼になれない場合には、アイリスコールにお問い合わせください。
- 保証期間内におきましても次の場合には有料修理になります。
 - 使用上の誤り、不当な修理、改造などによる故障及び損傷
 - お買い上げ後の落下などによる故障及び損傷
 - 火災、地震、その他の天災地変による故障及び損傷
 - 一般家庭用以外（たとえば業務用の長時間使用、車両・船舶への搭載など）に使用された場合の故障及び損傷
 - お買い上げ後の移動、輸送または什器・備品などとの接触による故障及び損傷
 - 本書の提示がない場合
 - 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

修理メモ

- ※ この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書によって保証書を発行しているもの（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはアイリスコールにお問い合わせください。
- ※ 保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間については、「保証とアフターサービス」をご覧ください。

アイリスオーヤマ株式会社

〒980-8510 仙台市青葉区五橋2丁目12番1号
ホームページ <https://www.irisohyama.co.jp/>

製品に関するお問い合わせ（通話料無料）

アイリスコール 0800-919-0770

9:00～17:00（年末年始・会社都合による休日を除く）

- お問い合わせの際は、製品の型番をお調べいただき、取扱説明書・ご購入履歴のわかるもの・メモのご用意をお願いします。

お客様サポート

24時間365日

Web即時回答サービス

